

人の手によって生み出される
音楽や文学、
絵画や彫刻、
ありとあらゆる芸術。

人はそれらの芸術作品に出会うことによって、
ときに震えるほど興奮し、
ときにとめどなく涙を流し、
ときに喜びを爆発させる。

建築にも同じことが言えると、僕は思う。

イタリアのヴェネト州で、

ある偉大な建築家が設計をした空間に身をおいたとき、
そのあまりの美しさに僕は圧倒された。

全身に鳥肌がたち、
身動きがとれないほどの衝撃をうけた。

石、鉄、木、ガラス。
光、風、緑、水。

その空間を構成する全ての要素が、

細部にいたるまで見事に調和していた。

建築とはこのようなものかと、

ここまで人の心を揺り動かせるものなのかと、
からだ全体で感じとった。

このときの衝撃が、

秋山立花のすべての始まりであり根底である。